

A photograph of a modern dining room. In the center, a large, multi-tiered chandelier with many small lights hangs from the ceiling. Below it, a curved, dark-colored sofa with several cushions is arranged around a square table. A single lit candle sits on the table. The room has large windows and a balcony area in the background. The lighting is warm and ambient.

更新

3カ年中期連結経営計画 (2016年2月期～2018年2月期)

2015年4月10日

株式会社ダイヤモンドダイニング

1. はじめに



グループ理念

『GIVE “FUN & IMPACT” TO THE WORLD』



Diamond Dining Quality (グループ行動指針)

『熱狂宣言』

私たちダイヤモンドダイニンググループはエンターテイメント性を追求し、
全てのステークホルダーの期待を超越する為に熱狂します。

私たちの目指す姿

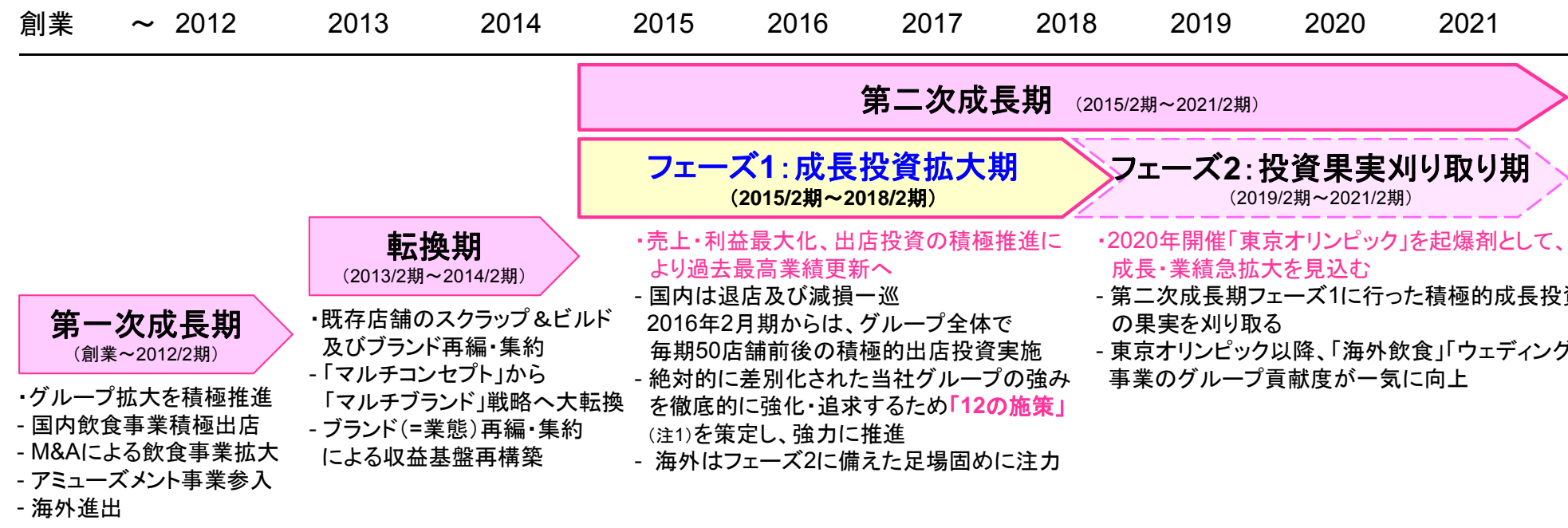
『世界NO.1のエンターテイメント企業グループ』

突き抜けたエンターテイメント力で圧倒的に差別化された企業グループ

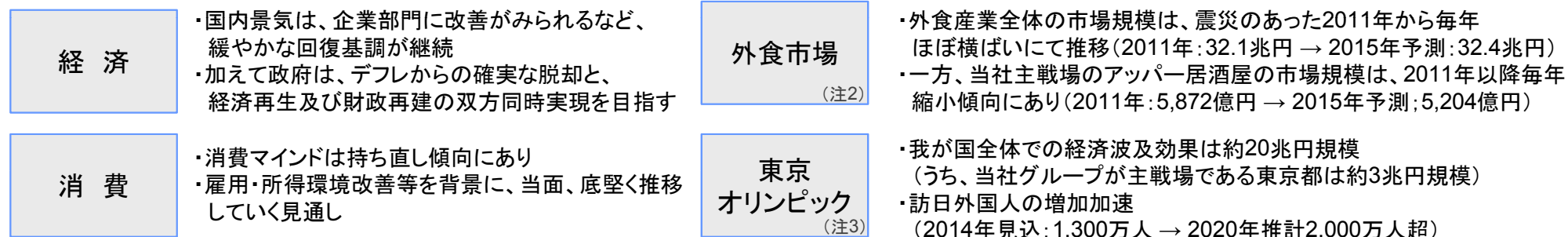
3か年中期連結経営計画策定の背景

来る2020年開催の「東京オリンピック」を起爆剤とし、当社グループの更なる業容・業績拡大を目指すべく、助走段階である第二次成長期フェーズ1にて着実な成果を実現する為、3か年中期連結経営計画の策定を実施

◆背景



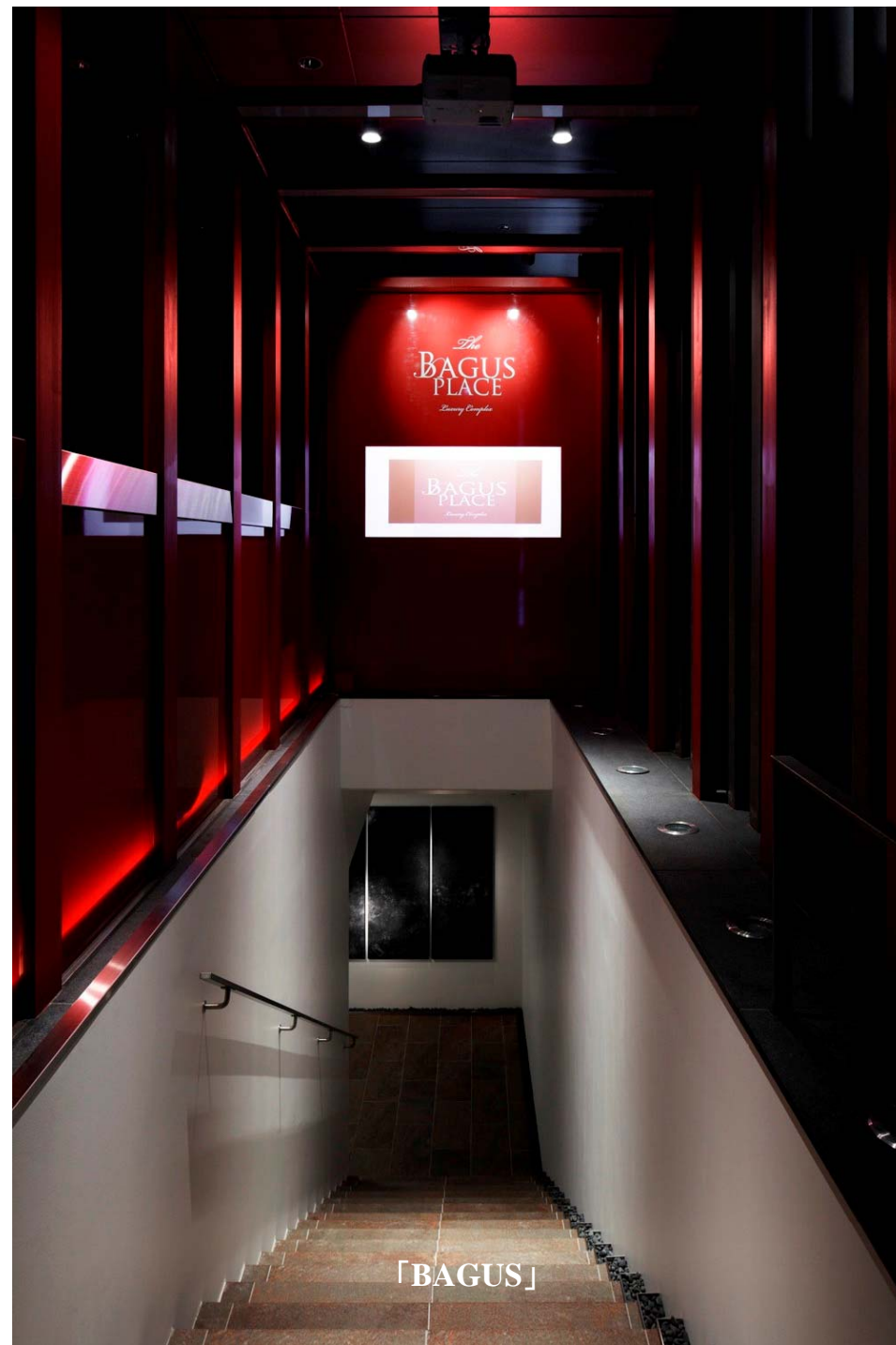
◆外部環境



(注1) 「12の施策」: 詳細は10ページ「グループ基本方針・施策」参照
 (注2) 出所: 「外食産業マーケティング便覧2014」(株式会社富士経済)

(注3) 出所: 「2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う我が国への経済波及効果」(森記念財団都市戦略研究所) 他

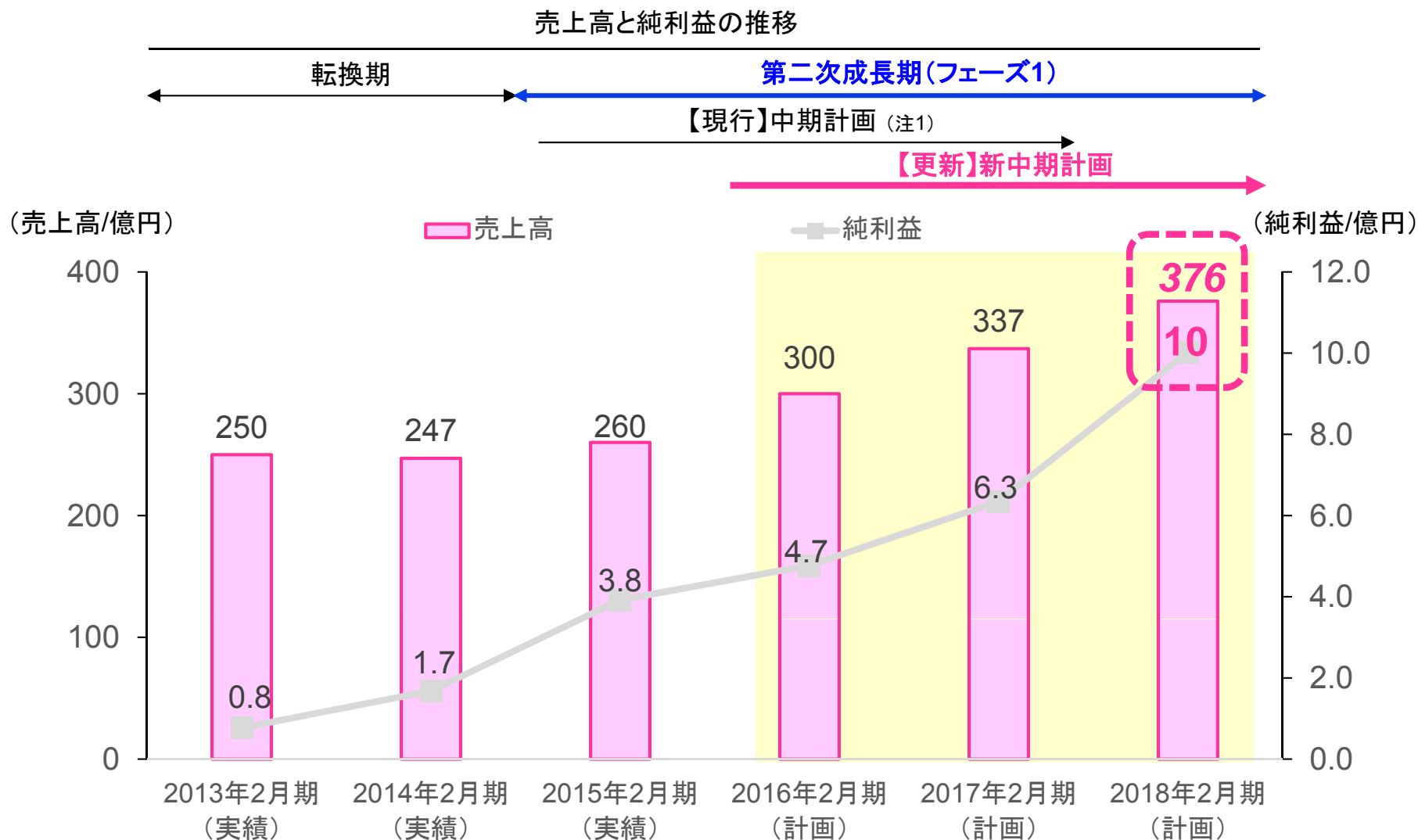
2. 中期連結經營計畫更新



3か年中期連結経営計画の更新(1/2) ～売上高・当期純利益更新～

転換期に行ったブランド再編・集約による筋肉質な収益基盤の構築により、前期(2015年2月期)は好業績を実現。更なる成長の加速を目的として中期計画を更新。

2018年2月期には売上高約380億円、当期純利益は過去最高の10億円を目指す！



(注1) 「【現行】中期計画」数値は、P8「【ご参考①】3か年中期連結経営計画の更新 ～現行中計と新中計比較～」参照

(注2) 当該計画は既存事業のみをベースとした計画であり、新規事業やM&Aは加味しておりません。

3か年中期連結経営計画の更新(2/2) ～店舗数・業績更新～

成長加速の方法として、第二次成長期フェーズ1においては筋肉質な収益基盤を保ちながら、グループ店舗の積極出店を行い、**毎年過去最高の営業利益を更新し、2018年2月期は19億円を目指す!**

2013年2月期～2018年2月期(計画)までの業績推移

	← 転換期			→ 第二次成長期(フェーズ1)		
	【現行】中期計画(注1)			【更新】新中期計画		
	2013年2月期 (実績)	2014年2月期 (実績)	2015年2月期 (実績)	2016年2月期 (新中計1年目)	2017年2月期 (新中計2年目)	2018年2月期 (新中計3年目)
グループ店舗数	225店舗	219店舗	236店舗 (14/2期比 17店舗純増)	271店舗 (15/2期比 35店舗純増)	311店舗 (15/2期比 75店舗純増)	360店舗 (15/2期比 124店舗純増)
売上高	250億円	247億円	260億円 (14/2期比 5.3%増)	300億円 (15/2期比 15.3%増)	337億円 (15/2期比 29.6%増)	376億円 (15/2期比 44.5%増)
営業利益	6.9億円	7.1億円	9.6億円 (14/2期比 35.1%増)	12億円 (15/2期 24.6%増)	15億円 (15/2期比 56.0%増)	19億円 (15/2期比 102.2%増)
当期純利益	0.7億円	1.7億円	3.8億円 (14/2期比 128.3%増)	4.7億円 (15/2期比 23.8%増)	6.3億円 (15/2期比 64.5%増)	10.0億円 (15/2期比 159.8%増)
EBITDA(注2)	15億円	14億円	17億円 (14/2期比 18.3%増)	21億円 (15/2期比 28.1%増)	25億円 (15/2期比 52.3%増)	30億円 (15/2期比 82.4%増)

毎期過去最高営業利益更新

(注1) 「【現行】中期計画」数値は、P8「【ご参考】3か年中期連結経営計画の更新 ～現行中計と新中計比較～」参照
 (注2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん
 (注3) 百万円単位の業績数値はP11参照

(注4) 当該計画は既存事業のみをベースとした計画であり、新規事業やM&Aは加味しておりません。

【ご参考①】3ヵ年中期連結経営計画の更新 ～現行中計と新中計比較～

現行3ヵ年中期連結経営計画(2014年4月公表)の2年目(2016年2月期)計画は1年前倒しにて前期(2015年2月期)概ね達成。現行3年目(2017年2月期)計画も前倒し達成可能を見込む。

		2015年2月期	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期
		【現行1年目計画】	【現行2年目計画】	【現行3年目計画】	
現行 中期計画 (2014年4月公表)	売上高	254億円	264億円	270億円	
	営業利益	6億円	10億円	13億円	
	当期純利益	0.9億円	3億円	4億円	
	期末店舗数	232店舗	246店舗	257店舗	
		前期実績	【新1年目計画】	【新2年目計画】	【新3年目計画】
新 中期計画 (2015年4月公表)	売上高	260億円	300億円	337億円	376億円
	営業利益	9.6億円	12億円	15億円	19億円
	当期純利益	3.8億円	4.7億円	6.3億円	10.0億円
	期末店舗数	236店舗	271店舗	311店舗	360店舗

(注) 当該計画は既存事業のみをベースとした計画であり、新規事業やM&Aは加味していません。

3. 新中期連結経営計画概要 (連結ベース)



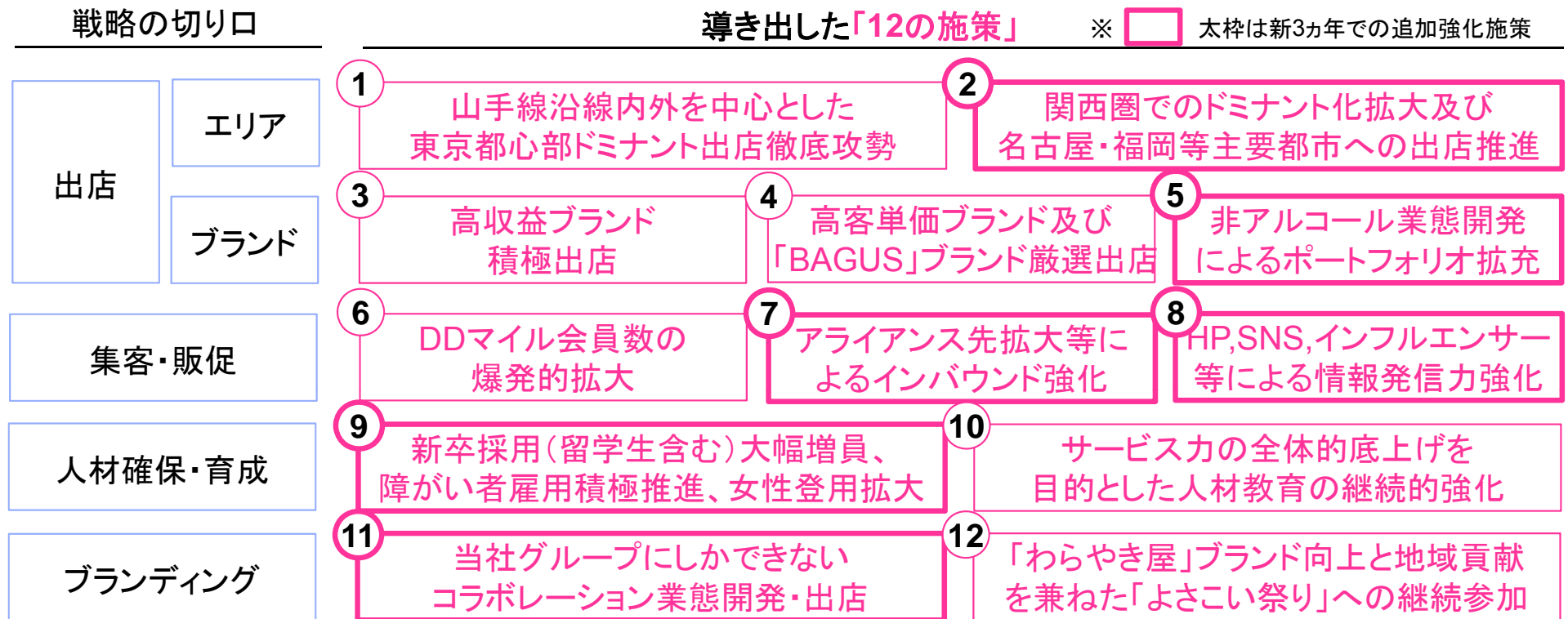
新3か年中期連結経営計画(1/2) ～グループ基本方針・施策～

グループ基本方針を基にした戦略から導き出した「12の施策」により、
新中期連結経営計画3年目である2018年2月期は過去最高の当期純利益10億円を目指す！

◆グループ基本方針

1. 都内を中心とした積極的出店投資(年間新規約50店舗・純増約40店舗)による【ダイヤモンドダイニンググループらしさ】^(注1)の徹底追及
2. 既存経営資源の更なる筋肉質化による収益力の向上
3. 外部リソースの積極活用・外部アライアンスの強化

◆方針達成の戦略



(注1)【ダイヤモンドダイニンググループらしさ】=「ハイブリッド経営」+「エンターテイメント性」+「ドミナント出店」
 (「ハイブリッド経営」=「マルチコンセプト戦略(個店の強み)」+「マルチブランド戦略(チェーン店の強み)」)

新3力年中期連結経営計画(2/2) ~連結数値計画~

【損益】	2015年2月期 (実績)	2016年2月期 (新中計1年目)	2017年2月期 (新中計2年目)	2018年2月期 (新中計3年目)
売上高	26,079百万円	30,066百万円	33,787百万円	37,691百万円
営業利益 (対売上高比率)	964百万円 (3.7%)	1,201百万円 (4.0%)	1,504百万円 (4.5%)	1,950百万円 (5.2%)
経常利益 (対売上高比率)	956百万円 (3.7%)	1,148百万円 (3.8%)	1,412百万円 (4.2%)	1,868百万円 (5.0%)
当期純利益 (対売上高比率)	385百万円 (1.5%)	477百万円 (1.6%)	635百万円 (1.9%)	1,002百万円 (2.7%)
EBITDA (対売上高比率) (注1)	1,700百万円 (6.5%)	2,178百万円 (7.2%)	2,588百万円 (7.7%)	3,101百万円 (8.2%)

【店舗数】	2015年2月期 (実績)	2016年2月期 (新中計1年目)	2017年2月期 (新中計2年目)	2018年2月期 (新中計3年目)
期首	219店舗	236店舗	271店舗	246店舗
出店	+31店舗	+45店舗	+47店舗	+51店舗
退店	△14店舗 (注2)	△10店舗	△7店舗	△2店舗
期末	236店舗	271店舗	311店舗	360店舗

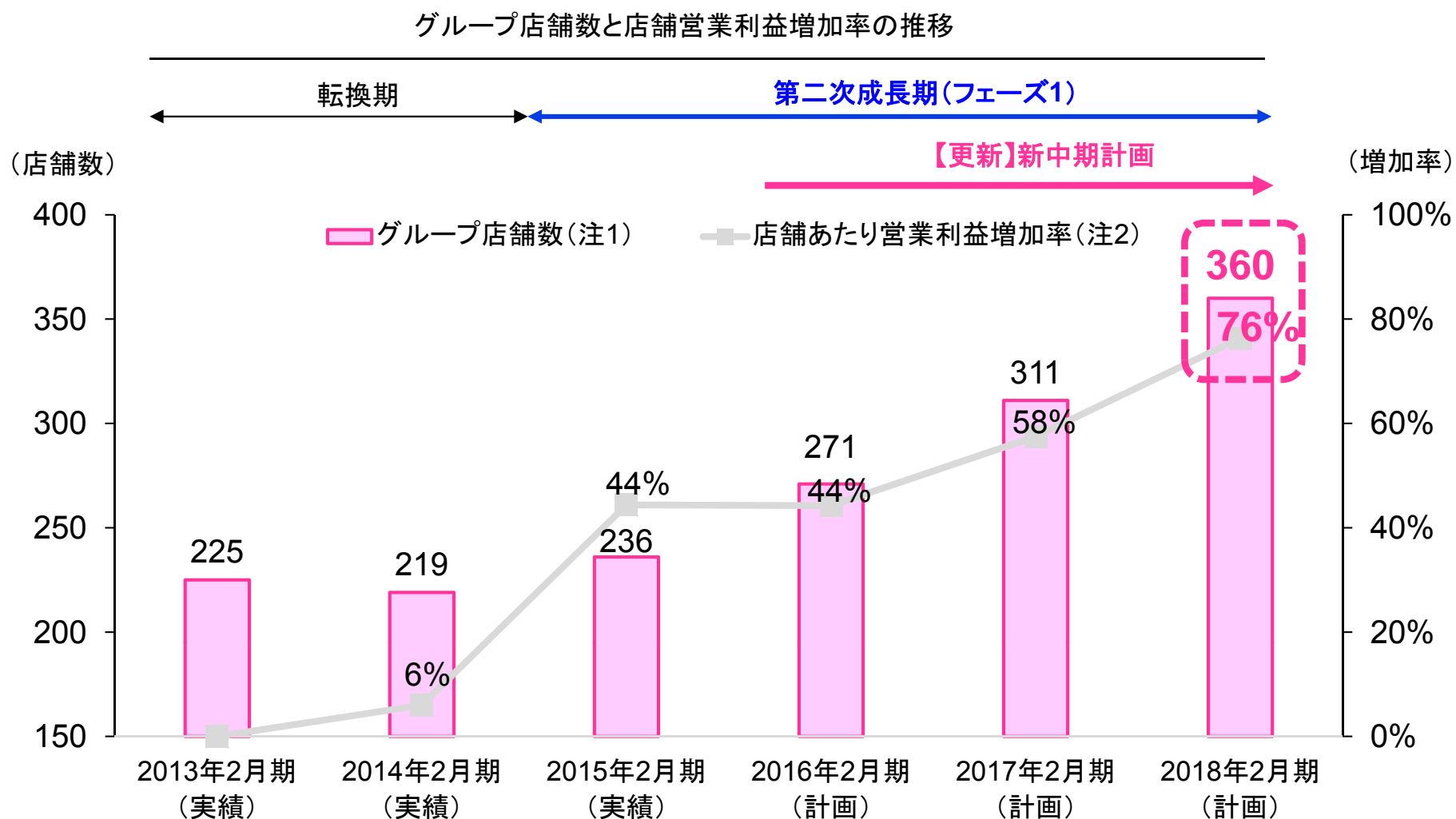
(注1) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん

(注2) 2015年2月期退店14店舗には、業態変更による店舗集約2店舗減含む

(注3) 当該計画は既存事業のみをベースとした計画であり、新規事業やM&Aは加味していません。

【ご参考②】期末店舗数・店舗営業利益増加率の推移

転換期の中で磨かれた高収益ブランドを中心に積極的に出店。
 新3カ年中期計画で事業ポートフォリオの収益力を向上させて、営業利益の最大化を図る



(注1) グループ店舗数: 前期末店舗数+新規出店数-退店数

(注2) 店舗営業利益増加率: 2013年2月期の営業利益を期末グループ店舗数で割った店舗営業利益に対して増加した各期の店舗営業利益率

(注3) 当該計画は既存事業のみをベースとした計画であり、新規事業やM&Aは加味していません。

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想・計画に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社グループの業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

お問合せ先

IR部

TEL : 03-6858-6081

FAX : 03-6858-6083

E-mail : ir@diamond-dining.com